

R.I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2011 - 2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー
2011 - 2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2011 - 8 - 19

第2789回 卓話例会報告



1、我らの生業

5、誕生祝



8月5日 金山夫人

多忙にまぎれて忘れていました。

これを機会にじっくりと会話をしたいと思っています。

ありがとうございました。



8月18日 清水夫人

聖徳太子の「十七条憲法」によると「和を以って尊しとなす」とあります。その次に「逆らう事無きを旨となす」とあります。

先生の教えを大切に守りたいと思います。ありがとうございました。



8月20日 杉野夫人

今日は家内の誕生日を祝っていただきましてありがとうございます。

84歳になります。正月には新しいカレンダー、日記、手帳に家内と自分の誕生日を書くことにしています。何が起こっても不思議ではない年ですので声を掛け合いながら過ごしている状態です。

今後ともよろしくお願いいいたします。（記念品）頂戴します。



8月28日 中田さん

56歳になります。会社の検診で40歳で糖尿病を患いましたが、最近の検診でグリコ数値が低くなりました。良くなりました。毎日美味しいものを食べ、酒をいただき少しでも長生きが出来るよう頑張っています。よろしくお願いします。ありがとうございました。



8月31日 岡崎さん

この前の銀婚式の時はタバコを止めました。今度金婚式の際には、酒を止めるかと言われれば、それは無理です。今日は、二人の誕生日を祝っていただきましたと思っています。



8月27日 羽田夫人

来月例によって東京での皮の展示会の作品作りで苛づいています。帰りましたら、僕の右手と妻の一生懸命やっている右手を合わせ、幸せになろうよと言ってあげようと思っています。ありがとうございました。

3、寺崎会長挨拶



皆さん今日は。お盆休み中は、如何でしたでしょうか。会員の中に、お母様と永久の別れをされた方がおいでです。心よりお悔みを申し上げます。大方の皆様には、ご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。今日は皆さんに報告と承認をしていただきたいことがあります。予てより

松田さんのことですが、只今黒部市民病院で入院加療中です。そこで松田さんが全快されるまで平崎さんに幹事の仕事をお願いすることに、先回の理事会で承認を頂きましたが、改めた皆さんの承認をお願い致します。



次の例会はガバナー公式訪問と西クラブとの合同例会があります。

それにあわせて釜山釜一ロータリークラブから例会に来たいと連絡がありました。釜山より来られることについては、西クラブと合同例会になりますので、西クラブさんをお願いをして西クラブの理事会に承認をいただき、また8月9日の例会に行ってお願いをしてきました。西クラブさんでは、快く返事をしていただきました。釜一ロータリーの皆さんを熱烈歓迎しましょう。

また地区大会の案内が着いていますので全員参加をお願いします。

4、幹事報告



- (1) 米山梅吉記念館より会報が着いています。
- (2) 魚津屋気楼マラソン実行委員会より協賛お願い
- (3) 全日本女子大学野球実行委員会より協賛御礼
- (4) 8月26日の例会は、ガバナー公式訪問です。魚津西ロータリー

との合同夜間例会ですが、釜一ロータリークラブの皆さんが例会から参加されます。

- (5) 8月25日 加賀インターアクトクラブの世話でインターアクト年次大会が開催されます。
寺崎会長、坪井委員長、愛宕さん、野沢地区委員長が参加します。
- (6) 8月SAA補助 池上さん、中島さんです。
- (7) 地区大会の参加をお願いします(8月30日 金沢にて)

5、出席報告

本日の出席 32名 欠席者 3名 出席率 91.42%

(メイクアップ済) 池上さん、中島さん、広浜さんです。

2787回のメイクアップ なし

2787回のメイクアップ なし修正出席率は 97.14%で変わりなしです。

6、ニコボックス

吉森さんより、大阪の長兄が旭日小授賞勲四等をいただき、14日に南家一族46名出席の小宴を行い私たち魚津組5名も参加し、とても楽しい嬉しい1日を過ごさせていただきました。

7、委員会報告



釜一委員会より、今度の例会に釜一ロータリーより8名がおいでになります。よろしくお願ひします。

ロータリー情報委員会より、ロータリーの友8月号のポイント紹介します。それから広報誌のコラム欄の投稿をお願いします。

8、本日の卓話

「目の病気」体験談

辻 英晴さん



前々回に心筋梗塞の体験談を卓話で話しましたが、今回の卓話は「網膜はく離」を経験した時の話をしてみたいと思います。もう8年前の事ですが、ある日車の運転をしていると前を走っている車のナンバーが歪んで見え、ナンバープレートもつぶれて見えます。車の形もよく見ると歪んで見えました。但し左目を閉じると正常に見えます。驚いてこれは運転をしている場合ではないと眼科に駆け込み検査してもらいました。すると左目の網膜が半分近く剥離しているので、至急手術が必要であると言われました。放っておいて半分以上隔離すると失明するかも知れないと言われ、即手術をして欲しかったのですが、私は心臓の薬を服用していた為、万が一があるといけないので、総合病院での手術を勧められました。それで富山大学付属病院に入院しました。

網膜はく離とは網膜が眼球壁からはがれてしまったもので、私の場合強度の近視が原因で眼球の長さが長い為、網膜周辺部が薄く弱くなるために起こったようです。網膜はく離がすすむと視野が欠けるとの事ですが確かに上部を見上げると一部暗幕が下がって着ているように視野が欠けておりました。これは網膜の上部がはがれたようです。網膜はく離の場合、手術が必要で私の場合網膜を引っ張っている硝子体を切除し、ガスを注入して内側から網膜を眼球に押し付け、元に戻す「硝子体手術」を行いました。ですから長時間うつ伏せで寝るように言われ大変でした。

手術後は視野の中にパチンコ玉のようなガスが見え、不思議な感じでした。時間かけて少しずつガスは無くなるからと言われて、ホッとした様な感じでした。少しずつそのパチンコ玉は小さくなりやがて無くなりました。それでも入院期間は1週間から2週間かかるらしく、私は1週間でしたが目の大切さを痛感させられました。眼帯をはずして視力が無くなっていたらどうしよう?とか、朝起きて眼が光を感じているかなど、そんな入院中の日々でした。

一般的に網膜はく離の原因はボクシング等の外傷などをよく耳にしますが、最も多いのは、50～60代の人でこの場合は加齢によって硝子体はく離が原因になります。これは硝子体が加齢によってゼリー状の部分と水分に別れ、網膜から離れてしまうもので、それ自体は生理的なものらしいが網膜が引っ張られて、孔があき網膜裂孔が起こってしまい、さらに孔のあいた部分から硝子体の水分が入り込んで網膜が剥がれてしまい網膜はく離を起こします。ただし手術を早めに行い、剥がれた網膜を元の位置に戻すことが出来れば視細胞の機能は回復し、低下した視力を改善することが可能です。ですから異変に気づいた時は直ちに眼科を受診することがとても重要です。

私達は、意識するしないにかかわらず、外界から様々な情報を得ています。そして入手した情報を収集するために目や耳、鼻などの感覚器が備わっていますが、その中で最も多くの情報を収集しているのが目です。外界からの情報のおよそ9割は「ものを見る」事によって得られます。しかし私を含め多くの方は、ものを見ることに不都合を感じないうちは、「見えて当たり前」目の働きによってどれ程多くの恩恵を受けているかということに考えが及ぶ事は余り無いでしょう。視力低下など、ものを見ることに支障をきたすようになって、はじめて目が果たしていた役割の重さに気づく方がほとんどではないかと思えます。「ものが見える」ことの大切さに気づき、目の健康に少しでも関心を行いました。ですから長時間うつ伏せで寝るように言われ大変でした。持つようになってくれれば幸いです。終わります。

大城先生からの補足をお願いします。(野沢幹事代理)

今言われたように目は非常に大切なものです。皆さん大切にしてください。

委員会の風景



ロータリー友情交換委員会

8名の釜一ロータリークラブの会員が訪問されます。南会長、韓初代会長、金前会長、金幹事、趙奉仕委員長、宋会員他2名です。

日程については、別紙のとおりです。

役割が協議されました。

あとがき

お盆を過ぎると、朝夕めっきりと涼しく感じられるようになりました。お互いにご自愛をしましょう。
「月日は百代の過客にして行かう年も又旅人也」にはじまる”おくの細道”では、松尾芭蕉一行は、元禄二年（1689年）魚津を通り抜け、8月27日滑川で宿泊し、28日加賀へ向かった。

芭蕉は加賀の国に入る前、「わせの香や 分入右は 有磯海」と詠んだ。



サービスエリアの記念碑



サービスエリアから富山湾（有磯海）を見る

北陸高速道路有磯海サービスエリアの命名は、有名な洗足学園の池田弥三郎先生と聞いている。先生は民族学の大家で、先輩である能登出身の折口信夫先生を慕い魚津においてになったと聞いた。先生は、富山湾を古来「有磯海」と呼んでいたとの認識から命名されたという。雨晴海岸をいう説もあるが、多くの専門の先生方では富山湾を意味しているのだろう。

さて、一般的には「わせの香や 分入右は 有磯海」の意味は「早稲の香りが漂う黄金の穂をかき分けて行く右は、波の荒い海といわれる有磯海である」である。

しかし以前東大の入試問題に出た時には、正確な解答ではなかったのである。それは「わせの香や・・・」の原文は「早稲の香や・・・」ではなく「王世の香や・・・」なのである。松尾芭蕉は木曾義仲が好きで、自らの遺言で義仲の墓の横に眠っている（滋賀の義仲寺）。芭蕉の王国は、果たして「越の国」なのか、「木曾の義仲」なのか、「真宗王国」なのか、「加賀の国」なのか分からない。池田先生に何度か会う機会があったが私の知識不足で、聞きそびれ、残念至極と反省している。平成25年が芭蕉320回忌。今年もあい変わらず、黄金の海が現われる。

住めば都、魚津はいいところではないですか。皆さん！。